

サステナビリティビジョン2030 2021年度取組み状況

▶ 全社的な取組み

コロナ禍も2年目に突入した2021年度は、生活者の皆さまの様々な社会課題に対する意識や「SDGs」に対する認知などが大幅に向上し、政府、企業・組織、個人とそれぞれのレベルで、持続可能な社会を実現するため、サステナビリティへの取組みがさらに加速した1年となりました。その中において当社は、DINOS CORPORATIONへの社名変更と新体制への移行、また12月に迎えた「ディノス創業50周年」という企業としての節目を受けて、お客様とともに“よりのたのしい暮らし”を創造・共有していくため、様々な社会・環境課題に取組み、持続可能な未来の実現に貢献しながら、企業としての成長を目指すための当社コミットメント「サステナビリティビジョン2030」を始動いたしました。

• ビジョンの発表

当社は2021年3月に「DINOS CORPORATION」として新体制へ移行、また昨年12月に「ディノス創業50周年」を迎えることを機に、持続可能な未来の実現に向けた、2030年当社コミットメント「サステナビリティビジョン2030」を発表いたしました。

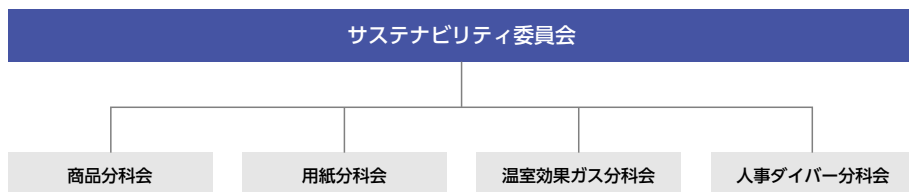
• 社内ガイドラインを策定

同ビジョンに掲げた、具体的な目標計画(定量・定性)推進のための社内向けガイドラインを作成いたしました。商品・サービスに関するガイドラインでは、3つの重点領域における取組みテーマ別・アクションのキーワード別に、「考え方」「想定される当社商品・サービス分野」「ガイドラインの内容」について、専門家の意見も踏まえつつ細かく設定しました。

また、健康経営及びダイバーシティ&インクルージョンに関するガイドラインでは、健康要因に関する多角的かつ複数の指標や、D&Iに対する従業員理解度指標、業務上の意思決定を行うキーポジションの女性社員比率等を織り込んでいます。今後、ガイドラインについては、世の中や社内状況の変化等を鑑み、必要に応じて更新していきます。

• サステナビリティ委員会を設置

同ビジョン実現に向けた推進体制として、社内にサステナビリティ委員会を設置しています。同委員会は代表取締役をはじめ役員を含むメンバーで構成され、マテリアリティに基づく重点領域を中心として、サステナビリティに関する全体計画の立案、進捗状況の把握、達成状況の評価等を行っています。また、同委員会には4つの分科会(商品・用紙・温室効果ガス・人事ダイバー)も設置し、それぞれの分野において様々な取組みを推進しています。



• 社内外へのコミュニケーション推進

当社のサステナビリティに関する取組みへの理解向上を目指し、サステナブルな商品に関するプレスリリースやコーポレートサイトでの情報発信、あるいは、「ディノス創業50周年」を記念してスタートしたオウンドメディアにおいて、サステナビリティ関連の記事を積極的に公開しています。また、社内においてより一層の「SDGs」「サステナビリティ」や当社ビジョン等への理解浸透のため、eラーニングの実施や、ビジネスのヒントとするためのウェビナー・ワークショップ等も開催しています。



オウンドメディアでは、サステナビリティも一つのテーマとして
それに関連する様々な方のストーリーを公開